

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 2000-172403

(43) Date of publication of application : 23.06.2000

(51) Int.Cl.

G06F 3/00  
G06F 15/02  
G09G 5/34  
G09G 5/373

(21) Application number : 10-368526

(22) Date of filing : 09.12.1998

(72) Inventor : KATO KIYOSHI

(71) Applicant : NEG CORP

(54) INFORMATION DISPLAY DEVICE AND ITS DISPLAY METHOD

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To display desired information in an easy-to-read through relatively easy operation.

SOLUTION: A display state memory 5 is stored with screen division information and screen enlargement rate

information and a processing means 3 alters the contents of the display state memory 5 by referring to

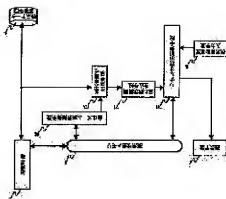
display data stored in a display data storage means 4. A

determines enlargement rates of respective divided areas from the contents of the display state memory 5

so that the center part is larger than the peripheral parts. A scenario display control means 70 scrolls

display data at the determined enlargement rates. The scrolling is perpendicular to the border lines of the

respective areas.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(11)特許出願公開番号

特開2000-172403

(43)公開日 平成12年6月23日(2000.6.23)

(年季). 1-2-3

(51) Int. Cl.<sup>7</sup> 分类号

959 00/8 4905

15/02 315

5/373

特選平10-368526 台農蠟田(12)

(22) 出願日 平成10年12月9日(1998.12.9)

(71) 出資人 000004237

東京都港区芝五丁目7番1号

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株

井理士 ▲柳川 昌

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報表示装置及びその表示方法

【要約】 (57)

【易】 比較的簡単な操作で所望の情報を読み取り易

【解決手段】

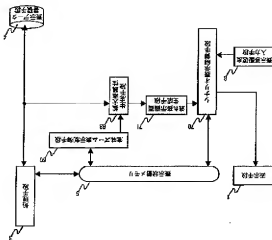
面積比率情報が格納され、処理手段3は表示データ部

母校生に借帳をとり、教員ノートを参照して教科内容に入

表示状態メモリ5の内容から分割された各領域の拡大率

る。シナリオ表示制御手段70はこの決定された拡大率

(で表す)データをクロールする。各領域の境界線に対し垂直方向に入クロールされる。





は、ユーザが動きのある表示を追いかけ見て見る負荷が大  
きく視認性が低下するとともに、画面上に多数の動的表  
示部品を配置すると、それぞれの動きを制御する操作が  
煩雑となる。

【0004】第1の従来技術として、表示手段の一面面  
に提示でない情報をスクロールやページフリットとい  
う操作で画面を切り替えて表示する従来のメニュー画面  
制御では、操作端末のように表示領域が小さい場合  
も、表示させるべき情報量を表示手段の一面面の情報量  
を、表示させるべき情報量より小さくした表示領域を  
特徴とする請求項1～20のいずれかに記載の情報表示

方法。

【請求項22】さらに外部より表示画面の座標情報を受  
入る第4スロットを含み、前記第1スロットは前記  
入力された座標情報に基づき前記画面  
拡大倍率及び画面詳細度情報を変更することを特徴と  
する請求項1～21のいずれかに記載の情報表示方法。

【請求項23】前記画面拡大率及び画面詳細度は表示  
画面中央の領域ほど大きく、表示画面周辺の領域は小  
さいことを特徴とする請求項1～22のいずれかに記載  
の請求項24。前記座標情報は3つのデータの全てが表  
示され、表示画面周辺の領域に最上層部及び2段目の層  
り、表示画面中央の領域に前記3層のデータの全てが表  
示され、表示画面中央の領域に最上層部及び2段目の層  
のデータが表示されることを特徴とする請求項23記載  
の請求項25。

【請求項26】前記第1スロットは前記表示データに  
とを特徴とする請求項24記載の情報表示方法。

【請求項27】前記第2スロットは前記表示データを新た  
に移動する1または2の座標表示データを新たに移動  
表示する前記座標表示データを前記表示データのスク  
ロールに運動してスクロールさせることを特徴とする請  
求項1～25のいずれかに記載の情報表示方法。

【請求項28】前記第3スロットは前記表示データを  
スクロールして座標表示データをスクロールさせること  
を特徴とする請求項27記載の情報表示方法。

【請求項29】前記第4スロットは前記表示データをスク  
ロールして座標表示データをスクロールさせることを特  
徴とする請求項28記載の情報表示方法。

【請求項30】また、前記表示領域は前記表示データのスク  
ロールによる拡大率の変化と文字単位のスロットの大き  
さにより、行単位でスクロールが不連続である  
とともに、行単位での拡大率の変化と文字単位のスロッ  
ルの方向が一致しないため、不連続な表示を追いかけ  
て見る負荷が小さくなる。

【請求項31】さらに、操作量を低減するに動スクロ  
ールを用いても、複数表示部品の制御には特別な知識や訓練  
が必要となる。

【請求項32】また、操作量を低減するための自動的なス  
クロールや、表示力を向上するためのアニメーション表  
示といった動的表示を利用する従来の情報表示装置で  
50 縮小して表示し、必要部分だけ拡大表示する従来の情

報表示装置及びその表示方法に関する。

【請求項33】また、操作量を低減するための自動的なス  
クロールや、表示力を向上するためのアニメーション表  
示といった動的表示を利用する従来の情報表示装置で  
50 縮小して表示し、必要部分だけ拡大表示する従来の情

報表示装置及びその表示方法に関する。

【請求項34】また、操作量を低減するための自動的なス  
クロールや、表示力を向上するためのアニメーション表  
示といった動的表示を利用する従来の情報表示装置で  
50 縮小して表示し、必要部分だけ拡大表示する従来の情

- 【課題】前記課題を解決するため  
 本発明は、小画面での大量の情報を参照する際のユーザ  
 表示装置では、ユーザ操作が煩雑となる  
 【0012】また、例えば特開平1-010536号  
 公報に示されるように、文字入力位置を指定する操作と  
 拡大位置を指定する操作を一致させて操作量を低減する  
 場合、文字入力を行う場合の操作効率を向上するが、情  
 報を参照するだけの場合には操作量を低減できない。  
 【0013】第4従属技術として、本構造等の情報精  
 度を増大し、ユーザによって必要な情報を選択的に表  
 示する従来の情報表示装置では、一部のデータを参照す  
 る場合には効率劣る操作が可能であるが、例えば画面の  
 表示装置のように全体データを流し読みする状況では、  
 頻繁に画面を下する操作が必要であり、ユーザの操作  
 負担が増大する。  
 【0014】また、流し読みによる全体画面の確認が難  
 しいことから、ユーザが画面構造を記憶していないけれ  
 ば、効率劣る操作ができない。  
 【0015】  
 【発明が解決しようとする課題】このように、従来の情  
 報表示装置では、第1の課題として、表示画面が小さ  
 い場合、頻繁に画面切替操作が必要となり、ユーザの操作  
 効率が大幅に低下するという問題があった。  
 【0016】本発明として、画面表示内容と画面  
 切替操作の方法が関連づけられていないため、前述  
 の課題を、拡大表示する位置の指定でユーザ操作が煩  
 雑となるという問題として、階級構造を持つ選択メ  
 ニューを利用する場合、全体データを流し読みする状況  
 下では、頻繁に画面を下する操作が必要であり、ユーザ  
 が画面構造を記憶していないければ効率的な操作ができ  
 ないという問題があった。  
 【0021】そこで本発明は上記課題を解決するために  
 なされ、その目的は比較的簡単な操作で所望の情報を流  
 読方法を提供することにある。  
 【0022】
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30
- 31
- 32
- 33
- 34
- 35
- 36
- 37
- 38
- 39
- 40
- 41
- 42
- 43
- 44
- 45
- 46
- 47
- 48
- 49
- 50

[illegible]

【0041】拡大率に生成手歩段63は、意味スー△表示制御手歩段60の算出した各領域の拡大率に応じて、表示手歩段手歩段4から読み出した表示ゾーンに拡大率属性を付加した各領域毎の表示ゾーンを生成して出力する。

【0042】流れ表示画面生成手段1は、拡大率属性の各領域で表示すべき表示画面を生成し出力する。表示移動速出入口手段8は、ユーザ入力を検出し表示移動速度を算出する。

【0043】シフト表示制御手段70は、表示移動速

度入手段8から受け取った表示移動速度と表示状態も  
モリ5に保持されている表示画面が、莫出された表示  
画面上の各領域での表示移動速度に応じて、表示状態も  
モリ5に保持されている表示画面状態を渡すとともに  
それに流れ表示画面生成手段7から受け取った各領域の  
表示画面を合成して表示手段1に出力する。

【0044】ここで、表示領域メモリ5が保持する表示画面状態とはいかなるものかについて説明する。画面状態は、画面をどう分割するか、それぞれの領域に現在何が表示されているかといった情報で構成されている。【0045】具体的には、(1)画面を分割する区切り

(3) たばこの番号等)又は各銘柄毎の紙大率の値、  
詳細度の変化(バタン(すめ決められ)たバタンの番号等)  
又は各銘柄毎の詳細度の値(表示するデータの種類の  
等)、(4)現在利用している帳票画面(すめ決められ  
た画面番号等)又は帳票に就いて割付けた表示データの

度(他の領域は中央部から算出)といった情報で構成されてい

【0046】なお、後述するがこれらの値は他の手段により動的に変更される。

【0047】次に、処理手段3で行う「対応する処理」について説明する。処理手段3は、例えばパーソナルコンピュータで用いられるアプリケーションソフトウェアの機能に相当する。

を解決する。  
 一表示内容と関連して行われるため、第2の課題  
 複数の面の切替が必要であるとともに、操作自体がミ  
 【0030】これにより、詳細画面と、演出自体がミ  
 び詳細画面を表示できなくなる。  
 合に画面をより小さく構成して表示するように拡大率およ  
 下で拡大率は調整表示されている領域が選択された場  
 合に、画面の拡大率をより詳細画面に変化させ、画面  
 に表示するように拡大率および詳細画面をより大きく詳細  
 している領域が選択された場合に、画面をより大きく詳細  
 をより大きく詳細表示する。

「0031」また、これらの情報は、それぞれのメニュー項目であるところから、詳細度を変化させた状態でも流れ表示によりメニュー項目を流し読みすることが可能であり、本構造メニューにおける階層の上下と必要なく、第6の画面を解決する。

【0032】さらに、本発明の情報表示装置及びその表示方法では、シェリボ表が情報手段が100の流れを示すニューを構成する。複数の領域の表示を連続させることにより、詳細度の異なる領域を用いても滑らかに連続しているような流れを示す行とすることができるため、ユーザに不連続な表示を違和感なく見て貰うことが可能である。第3の流

問題を解決する。

【003】また、画像の拡大／縮小や画面割当てといった処理能力が要求される処理は変化のある領域だけで行えばよく、安価で処理能力の低い携帯端末においても容易に実現することができ。

【0034】さらに、境界の検出表示メニュー間の表示

【0035】さらにまた、流れ表示メニューや動的接続解決する。

長な情報も効率的に小画面内に提示でき、第1の強項を

を意動させることにより、メニュー項目間で共通する元

【0036】以下、本発明の美顔器の形態について添付図

【0037】図1を参照して、情報表示装置は表示手段1と、処理手段3と、表示子データ蓄積手段4と、表示子データ移動手段5と、表示移動速度人力手段8と、意味ズーム表示制御手段6と、拡大率制御生成手段9と、シフト

からなる。  
 リオ表示制御手段70と、隣接表示画面生成手段71と  
 【0038】表示手段1は、2次元表示を行う。表示状  
 態メモリ5は、表示画面状態を保持する。表示メモリ5は、表示メモリ5を密着する。



[illegible][illegible]



【0080】そこで、意味スーム表示制御手段60は、スクロール方向に対し垂直な境界で区切られた複数の領域に対し、中央部に近づくにつれて情報量を多く、周辺部（スクロールの始点と終点）に近づくにつれて情報量が少くなるように拡大率を決定し、各領域の境界部分で情報が連続するように、拡大方向をスクロール方向と一致させている。

【0081】分列する領域が多くなることと計算や画面の処理負荷が増えるため、中央である領域3と周辺部である領域1および領域5の3個に、中央と周辺の間に中間部に近づくにつれて情報量を多く、中央部に近づくにつれて情報量を少なく、周辺部（スクロールの始点と終点）に近づくにつれて情報量が少くなるように各領域の拡大率を決定して、スクロール方向に対し垂直な境界で区切られた領域1から領域5までの境界に分割し、スクロールを上下および左右スクロール方向にそれぞれ、スクロール方向と一致させている。

【0082】このような情報の拡大方法としては、図8に上下スクロールの場合を示したが、スクロール方向が左右スクロール方向であれば、図10に示すように、左から右へのスクロールの場合に分割し、図11に示すように、スクロールの始点と終点である上下および左右に近づくにつれて情報量を減らせばよい。

【0083】また、図1における境界の向きをスクロールの向きに応じて変化させれば、自由な方向へのスクロールも可能である。さらに、表示平面内で自由な方向にスクロールする場合には、スクロールを上下と左右の両方向で区別して考えることもできる。

【0084】例えば、図12に示すように、上下および左右スクロール方向にそれぞれ5個の領域を上下および左右の両方向の9種類の拡大率を設定することで、自由な方向へのスクロールに対応することができる。

【0085】次に、拡大率固有性生成手段63の動作をフローチャートにより説明する。図4は拡大率固有性生成手段63の動作を示すフローチャートである。

【0086】拡大率固有性生成手段63は、意味スーム表示制御手段60の算出した各領域の拡大率から拡大率に変化があるかを判定し（図4のステップ941）、変化がある場合（ステップ941にてY）の場合（ステップ943）、表示スライダを表示スライダを算出し（ステップ944）には各領域の新しい拡大率を算出し（ステップ945）、変化がある場合（ステップ941にてY）の場合（ステップ943）、表示スライダを表示スライダを算出し（ステップ944）には各領域の新しい拡大率を算出し（ステップ945）に変化があるかを判定し（図4のステップ946）、拡大率固有性生成手段63の動作をフローチャートにより説明する。図4は拡大率固有性生成手段63の動作を示すフローチャートである。

【0087】一方、ステップ941にて拡大率に変化がない場合（ステップ941にてNの場合）は拡大率固有性生成手段63の動作を示すフローチャートである。

【0088】次に、スライダ表示制御手段70の動作をフローチャートにより説明する。図48、49はスライダ表示制御手段70の動作を示すフローチャートである。

【0089】次に、分列する領域が多くなることと計算や画面の処理負荷が増えるため、中央である領域3と周辺部である領域1および領域5の3個に、中央と周辺の間に中間部に近づくにつれて情報量を多く、中央部に近づくにつれて情報量を少なく、周辺部（スクロールの始点と終点）に近づくにつれて情報量が少くなるように各領域の拡大率を決定して、スクロール方向に対し垂直な境界で区切られた領域1から領域5までの境界に分割し、スクロールを上下および左右スクロール方向にそれぞれ、スクロール方向と一致させている。

【0090】一方、図48のステップ971にて表示移動手段70からユーザ入力を受け取った場合（ステップ983）、その表示結果に応じて表示状態メモリ5の表示面状態を変更する（ステップ984）。

【0091】一方、図48のステップ971にて表示移動手段70からユーザ入力を受け取った場合（ステップ983）、その表示結果に応じて表示状態メモリ5の表示面状態を変更する（ステップ984）。

【0092】また、各領域の境界部分で情報が連続するように、拡大方向をスクロール方向と一致させている。これにより、ユーザが情報しやすき表示画面を提供でき、流れ表示によって操作性が低下することを防止できる。

【0093】中央と周辺の間に中間的な拡大率を持つ領域を加えた5個とすることで、ユーザが理解しやすき流れ表示を提供しつつ、処理負荷を抑えることができる。

【0094】さらに、領域分割における境界の向きをスクロールの向きに応じて変化させたり、上下および左右のスクロール方向にそれぞれ左右および上下の境界を利用することで、表示平面内で自由な方向のスクロールに対応することができる。

【0095】次に、第2の実施の形態について説明する。図2は第2の実施の形態の構成図である。図2の構成では、図1の構成に加えて、表示スライダ表示制御手段4から読み出した表示スライダの構造情報から表示スライダの形状を形成して表示するためのプロットを生成し、出力する制御手段73を有する。

【0096】また、スライダ表示制御手段70は、表示移動手段入力手段8から受け取った表示移動速度と表示状態メモリ5に保持されている表示画面状態から算出した表示画面上的各領域での表示移動速度に応じて、表示









表示画面生成手段の機能を説明する図である。図30の

(A)、(B)、(C)、(D)は、図29に示す表示画面101に於て変化

する様子を表す。

【0177】図29では、領域3および領域4がスクロール

した状態を示している。

【0178】図31は、第4の実施形態における図29の

表示の動作を説明するためのフローチャートである。図

30に示すスクロール処理は、図4の表示移動速度入力

手段8による入力手段78011と、速度算出手段802と、

停止判定手段7803と、シフト表示手段7804と、

領域2移動判定手段7805と、領域2移動算出手段7806と、

領域1移動判定手段7807と、領域1移動算出手段7808と、

領域4移動算出手段7811と、領域4移動判定手段7812と、

領域5移動判定手段7813と、領域5移動算出手段7814と、

領域5表示手段7815と、領域4表示手段7816と、領域3表示手段7817と

からなる。

【0179】図4、図25、図26、図27、図28、図29、

図30、図31を参照して、この実施形態の動作を説明す

る。図4は、図2の構成と概略して、拡大動作を説明す

る。図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

【0167】横画面生成手段73は、表示データ格納

手段4から読み出した表示データの構造情報から表示

データ内の項目を整形し表示するためのソフトウェア

を生成し出力する(図40のステップ906)。

【0168】表示移動速度入力手段8は、ユーザ入力

を検出し表示移動速度を算出する。シフト表示制御手段

70は、表示移動速度入力手段8から受け取った表示移

動速度と表示状態メモリ5に保持されている表示制御状

態から算出した表示画面面上の各領域への表示移動速度

に応じて、表示状態メモリ5に保持されている表示画面状

態を変更する(ステップ907)とすると、流れ表示画面

画生成手段71から受け取った各領域の表示画面を基

に、図26に示す表示画面101

【0170】図26は、第4の実施形態における表示

画面の一例を示す図である。図26に示す表示画面101

は、図25で定義した階層構造を利用して表示画面の

各領域に表示する情報の詳細度を変化させた例である。

【0171】中央部の領域3は、詳細な情報表示領域と

して、階層1ないし階層3のすべての情報を表示する。周辺

領域は階層情報の表示領域とし、領域4および領域5には

階層1のみを表示する。

【0172】図27は、図25の表示データ構造を用い

た表示データの一側を示す図である。図27に示す表示

データ734は、図26の領域1および領域5に表示さ

れる情報を表し、図25の表示データ733から図2

6に示す階層1の部分を抽出した表示データである。

【0173】図28は、図25の表示データ構造を用い

た表示データの一側を示す図である。図28に示す表

示データ735は、図26の領域4に表示される情報を表し、図25の表示データ733から図2

6に示す階層1および階層2の部分を抽出した表示データである。

【0174】図29は、図26の表示画面を用いて階層

構造を説明する図である。図29に示す表示画面101

は、図26の表示画面101に於て変化

する様子を表す。

【0175】表示画面の一面には、詳細情報で2項目

分、階層情報は5項目分を表示できる。

【0176】図30は、第4の実施形態における流れ

運動させることにより、連結したスクロールを実現す

る。図29に示す表示画面101に於て変化

する様子を表す。

【0177】図29では、領域3および領域4がスクロール

した状態を示している。

【0178】図31は、第4の実施形態における図29の

表示の動作を説明するためのフローチャートである。図

30に示すスクロール処理は、図4の表示移動速度入力

手段8による入力手段78011と、速度算出手段802と、

停止判定手段7803と、シフト表示手段7804と、

領域2移動判定手段7805と、領域2移動算出手段7806と、

領域1移動判定手段7807と、領域1移動算出手段7808と、

領域4移動算出手段7811と、領域4移動判定手段7812と、

領域5移動判定手段7813と、領域5移動算出手段7814と、

領域5表示手段7815と、領域4表示手段7816と、領域3表示手段7817と

からなる。

【0179】図4、図25、図26、図27、図28、図29、

図30、図31を参照して、この実施形態の動作を説明す

る。図4は、図2の構成と概略して、拡大動作を説明す

る。図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、

図2の構成と概略して、拡大動作を説明する。図4は、







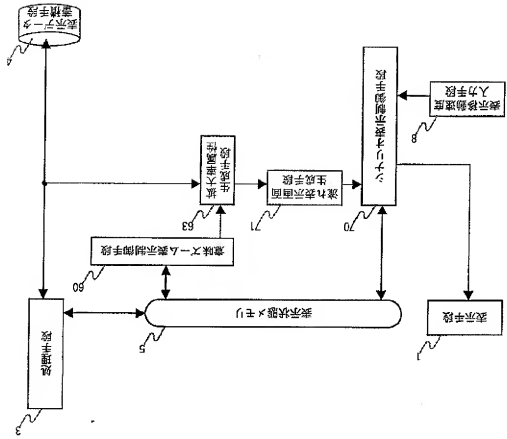
【図 18】従来の情報処理装置における表示画面の遷移手段の機能を説明する図である。  
【図 19】第 2 の実施の形態における補足メニューの一例を示す図である。  
【図 20】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 21】第 2 の実施の形態におけるメニュー表示制御手段の機能を説明する図である。  
【図 22】第 3 の実施の形態における表示操作兼用画面の一例を示す図である。  
【図 23】第 3 の実施の形態における表示画面の遷移の一例を示す図である。  
【図 24】第 4 の実施の形態における表示画面の遷移の一例を示す図である。  
【図 25】第 4 の実施の形態における表示メニューの構造の一例を示す図である。  
【図 26】第 4 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 27】図 25 の表示メニュー構造を用いた表示メニューの一例を示す図である。  
【図 28】図 25 の表示メニュー構造を用いた表示メニューの一例を示す図である。  
【図 29】図 26 の表示画面を用いて階層メニュー合成手段の機能を説明する図である。  
【図 30】第 4 の実施の形態における流れ表示画面生成手段の機能を説明する図である。  
【図 31】第 4 の実施の形態における流れ表示の動作を説明するためのフローチャートである。  
【図 32】第 5 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 33】第 5 の実施の形態における流れ表示画面生成手段の機能を説明する図である。  
【図 34】第 5 の実施の形態における表示操作兼用画面の一例を示す図である。  
【図 35】第 6 の実施の形態における表示画面の遷移の一例を示す図である。  
【図 36】第 6 の実施の形態における表示画面の遷移の一例を示す図である。  
【図 37】第 1 の実施の形態の動作を示すフローチャートである。  
【図 38】第 2 の実施の形態の動作を示すフローチャートである。  
【図 39】第 3 の実施の形態の動作を示すフローチャートである。  
【図 40】第 4 の実施の形態の動作を示すフローチャートである。  
【図 41】第 5 の実施の形態の動作を示すフローチャートである。  
【図 42】第 6 の実施の形態の動作を示すフローチャートである。

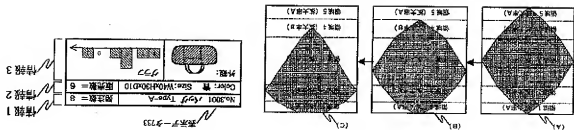
【図 17】第 2 の実施の形態における流れ表示画面生成手段の機能を説明する図である。  
【図 18】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 19】第 2 の実施の形態における表示メニューの一例を示す図である。  
【図 20】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 21】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 22】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 23】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 24】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 25】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 26】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 27】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 28】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 29】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 30】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 31】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 32】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 33】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 34】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 35】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 36】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 37】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 38】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 39】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 40】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 41】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。  
【図 42】第 2 の実施の形態における表示画面の一例を示す図である。

\*【符号の説明】

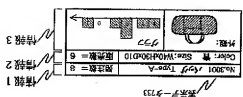
- 1 表示手段
- 2 ペン入力手段
- 3 処理手段
- 4 表示データ蓄積手段
- 5 表示状態メモリ
- 6 表示データ合成手段
- 7 詳細属性生成手段
- 8 表示移動速度入力手段
- 9 表示移動速度入力手段
- 10 表示移動速度入力手段
- 11 表示移動速度入力手段
- 12 表示移動速度入力手段
- 13 表示移動速度入力手段
- 14 表示移動速度入力手段
- 15 表示移動速度入力手段
- 16 表示移動速度入力手段
- 17 表示移動速度入力手段
- 18 表示移動速度入力手段
- 19 表示移動速度入力手段
- 20 表示移動速度入力手段
- 21 表示移動速度入力手段
- 22 表示移動速度入力手段
- 23 表示移動速度入力手段
- 24 表示移動速度入力手段
- 25 表示移動速度入力手段
- 26 表示移動速度入力手段
- 27 表示移動速度入力手段
- 28 表示移動速度入力手段
- 29 表示移動速度入力手段
- 30 表示移動速度入力手段
- 31 表示移動速度入力手段
- 32 表示移動速度入力手段
- 33 表示移動速度入力手段
- 34 表示移動速度入力手段
- 35 表示移動速度入力手段
- 36 表示移動速度入力手段
- 37 表示移動速度入力手段
- 38 表示移動速度入力手段
- 39 表示移動速度入力手段
- 40 表示移動速度入力手段
- 41 表示移動速度入力手段
- 42 表示移動速度入力手段
- 43 表示移動速度入力手段
- 44 表示移動速度入力手段
- 45 表示移動速度入力手段
- 46 表示移動速度入力手段
- 47 表示移動速度入力手段
- 48 表示移動速度入力手段
- 49 表示移動速度入力手段
- 50 表示移動速度入力手段
- 51 表示移動速度入力手段
- 52 表示移動速度入力手段
- 53 表示移動速度入力手段
- 54 表示移動速度入力手段
- 55 表示移動速度入力手段
- 56 表示移動速度入力手段
- 57 表示移動速度入力手段
- 58 表示移動速度入力手段
- 59 表示移動速度入力手段
- 60 表示移動速度入力手段
- 61 表示移動速度入力手段
- 62 表示移動速度入力手段
- 63 表示移動速度入力手段
- 64 表示移動速度入力手段
- 65 表示移動速度入力手段
- 66 表示移動速度入力手段
- 67 表示移動速度入力手段
- 68 表示移動速度入力手段
- 69 表示移動速度入力手段
- 70 表示移動速度入力手段
- 71 表示移動速度入力手段
- 72 表示移動速度入力手段
- 73 表示移動速度入力手段
- 74 表示移動速度入力手段
- 75 表示移動速度入力手段
- 76 表示移動速度入力手段
- 77 表示移動速度入力手段
- 78 表示移動速度入力手段
- 79 表示移動速度入力手段
- 80 表示移動速度入力手段
- 81 表示移動速度入力手段
- 82 表示移動速度入力手段
- 83 表示移動速度入力手段
- 84 表示移動速度入力手段
- 85 表示移動速度入力手段
- 86 表示移動速度入力手段
- 87 表示移動速度入力手段
- 88 表示移動速度入力手段
- 89 表示移動速度入力手段
- 90 表示移動速度入力手段
- 91 表示移動速度入力手段
- 92 表示移動速度入力手段
- 93 表示移動速度入力手段
- 94 表示移動速度入力手段
- 95 表示移動速度入力手段
- 96 表示移動速度入力手段
- 97 表示移動速度入力手段
- 98 表示移動速度入力手段
- 99 表示移動速度入力手段
- 100 表示移動速度入力手段

【図1】

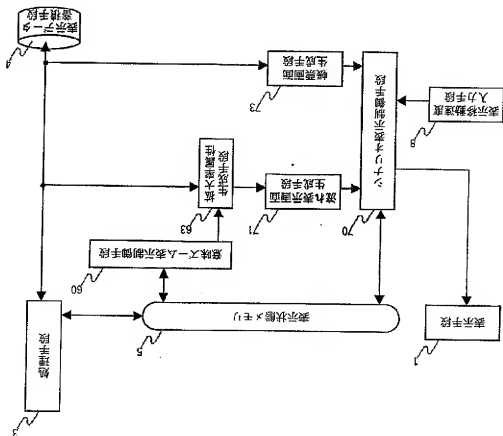




【図9】

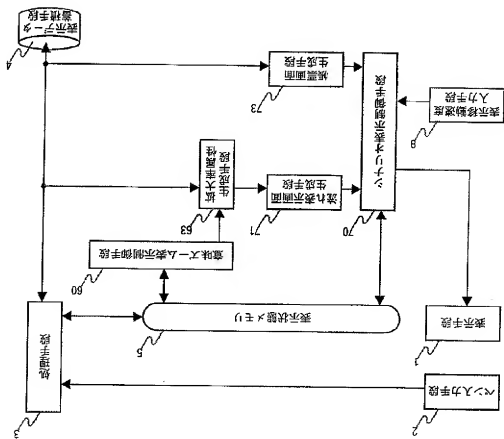


【図25】



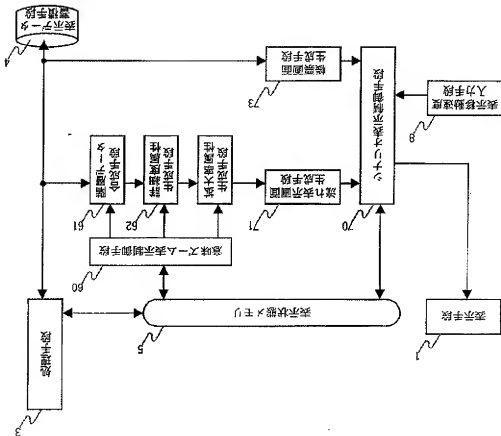
【図2】

【図3】

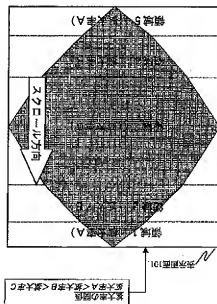




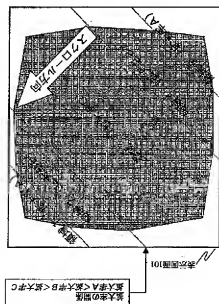
【図5】

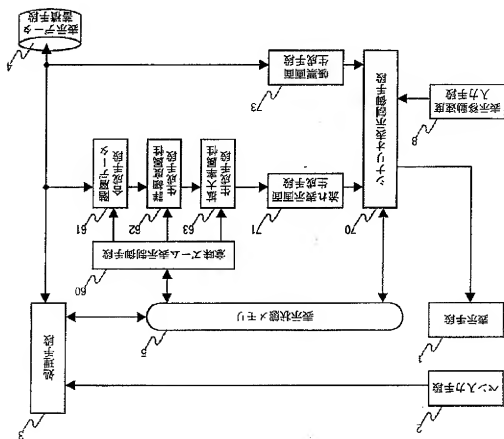
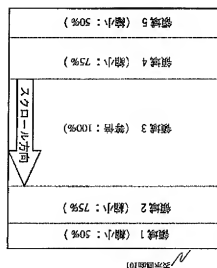
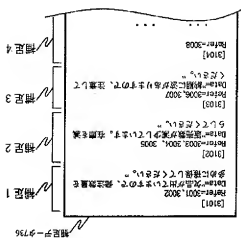


【図8】

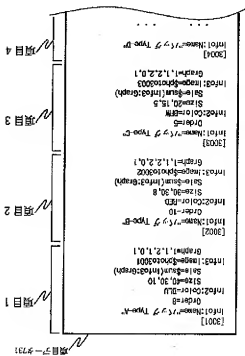


【図11】

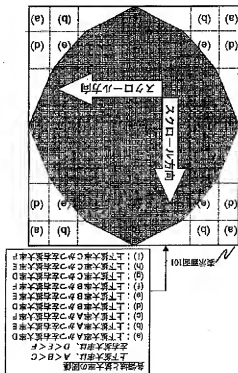




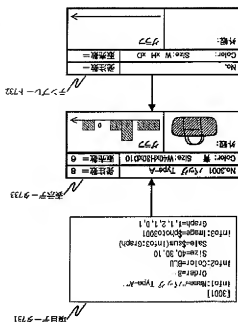
【図13】



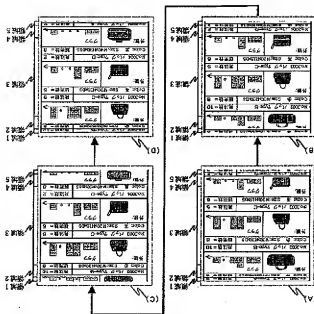
【図12】



【図14】

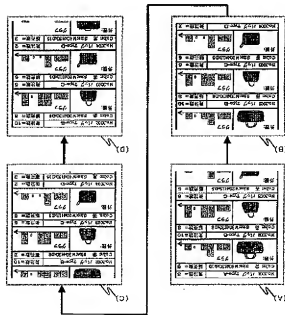


【図17】

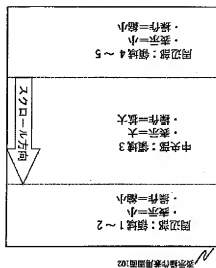




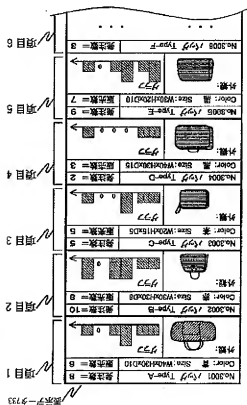
【図18】



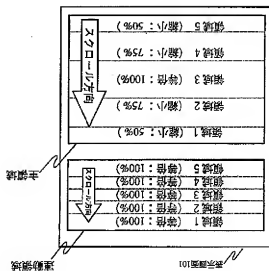
【図22】



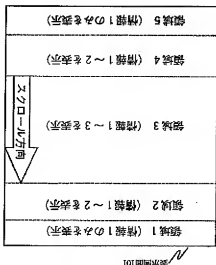
【図15】



【図20】

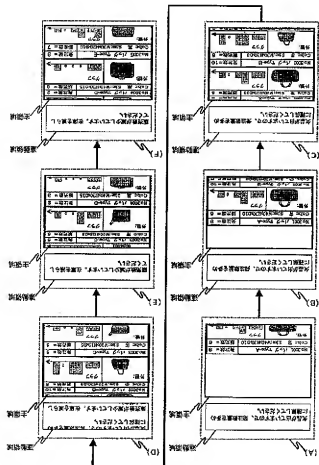


【図26】



表示画面101

【図21】



【図28】

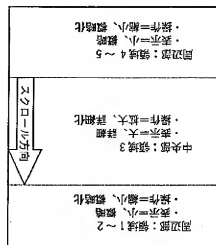
項目1	色注数=8	Color: 青 Blue	Size: W300H200D10	底注数=5	No.3001 Type-A
項目2	色注数=9	Color: 赤 Red	Size: W300H200D10	底注数=10	No.3002 Type-B
項目3	色注数=9	Color: 黄 Yellow	Size: W300H200D10	底注数=10	No.3002 Type-B
項目4	色注数=2	Color: 青 Blue	Size: W200H150D5	底注数=5	No.3003 Type-C
項目5	色注数=9	Color: 黒 Black	Size: W400H300D15	底注数=9	No.3005 Type-E
項目6	色注数=7	Color: 黒 Black	Size: W300H200D10	底注数=7	No.3006 Type-F

表示7-9753

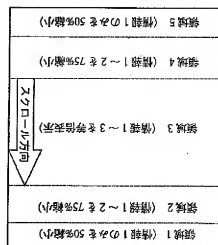
【図27】

項目1	色注数=8	Color: 青 Blue	Size: W300H200D10	底注数=5	No.3001 Type-A
項目2	色注数=9	Color: 赤 Red	Size: W300H200D10	底注数=10	No.3002 Type-B
項目3	色注数=9	Color: 黄 Yellow	Size: W300H200D10	底注数=10	No.3002 Type-B
項目4	色注数=2	Color: 青 Blue	Size: W200H150D5	底注数=5	No.3003 Type-C
項目5	色注数=9	Color: 黒 Black	Size: W400H300D15	底注数=9	No.3005 Type-E
項目6	色注数=7	Color: 黒 Black	Size: W300H200D10	底注数=7	No.3006 Type-F

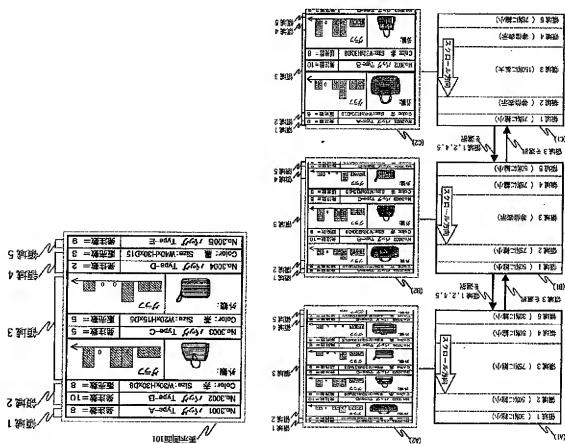
表示7-9754



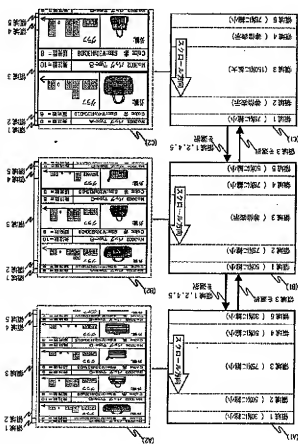
【图 3-4】



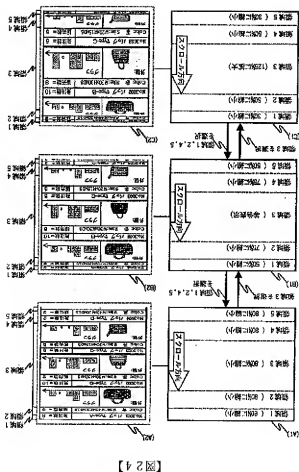
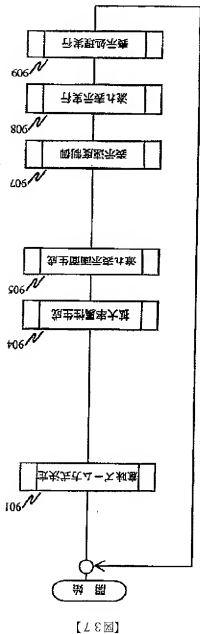
【32】

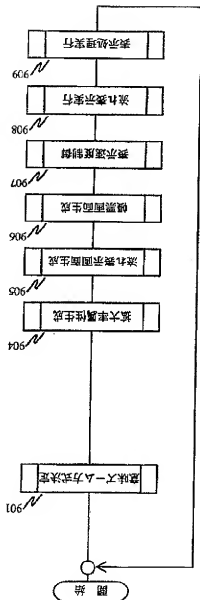


【62】

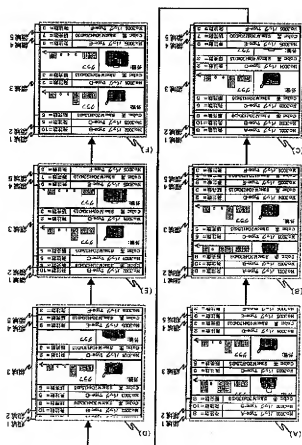


【图23】



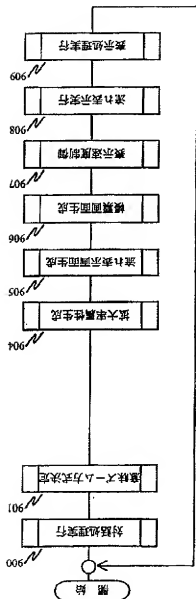


【図38】

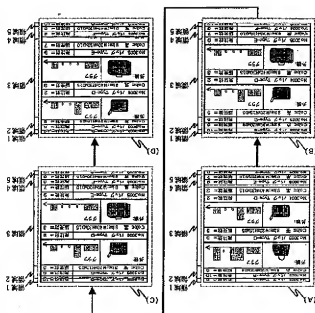


【図30】

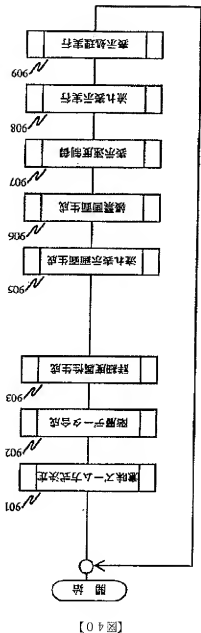




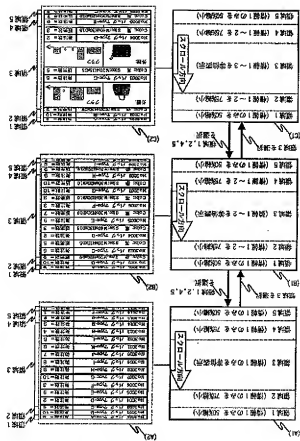
【図3】



【図33】

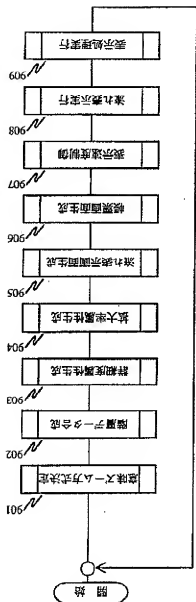


[図40]

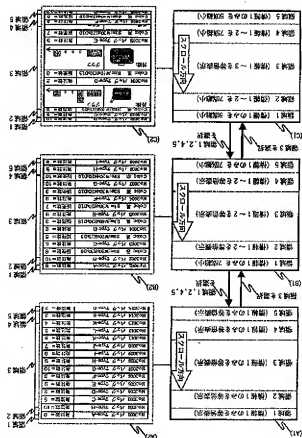


[図35]

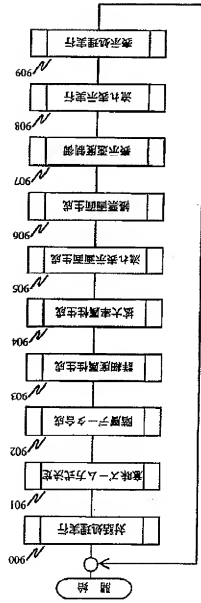




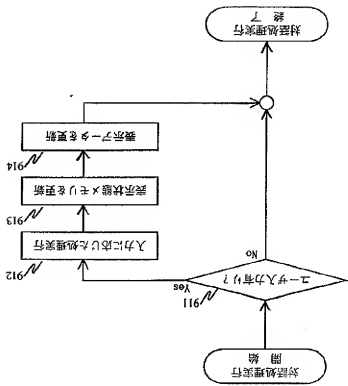
【図41】



【図36】

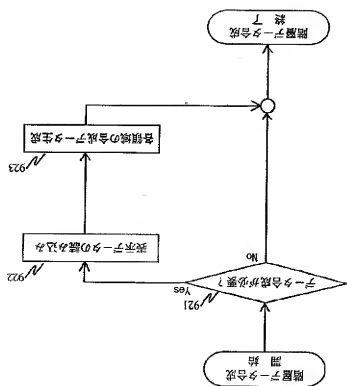


【図42】

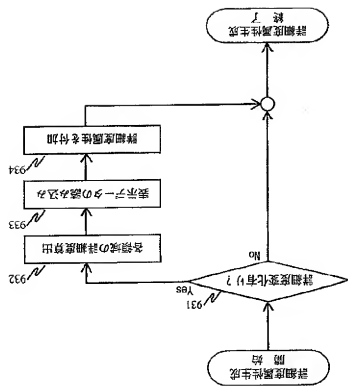


【図43】

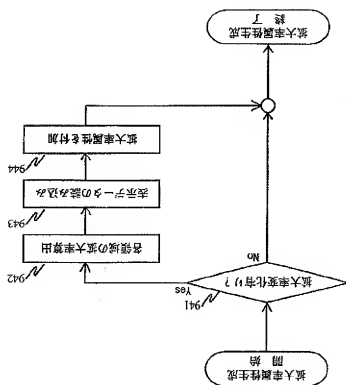
【図44】



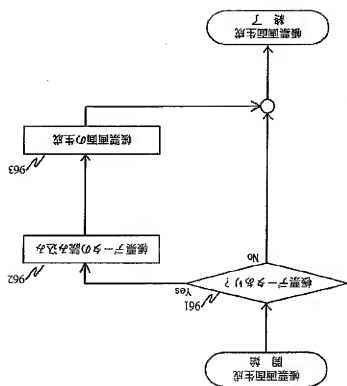
【図45】



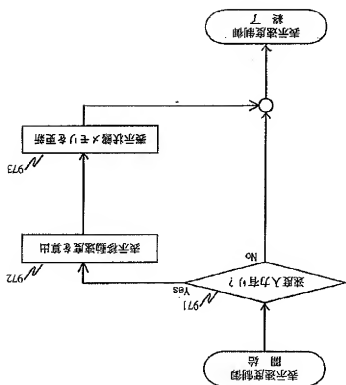
【図46】



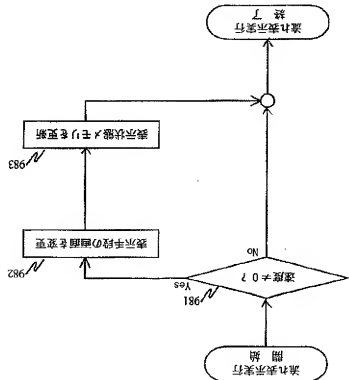
【図47】



【図48】



【図49】



フローチャートの終り

メモリー(参照) 5B019 HD04

5C082 AA01 BA12 CA33 CA40 CA72  
CB01 CB06 DA87 DA89 MN02  
MN09 MN10  
5F501 AA04 AC15 AC19 AC33 BA03  
BA05 CA04 CB11 EA17 EB05  
EB18 FA06 FA25 FA47 FB04  
FB32 FB43